

第3回伊那地域定住自立圏共生ビジョン協議会 会議録

開催日	平成28年7月12日(火)			
開催時間	開 会	午前10時00分	閉 会	午前10時45分
開催場所	市役所 多目的ホール			
委員出席者	伊那市区長会 箕輪町区長会 南箕輪村 伊那中央行政組合 伊那市社会福祉協議会 伊那商工会議所 箕輪町商工会 南箕輪村商工会 上伊那農業協同組合 上伊那森林組合 伊那バス株式会社 ジェイアールバス関東株式会社 中央道支店 有限会社 白川タクシー 長野県宅地建物取引業協会 南信支部 伊那市観光協会 伊那市保育園保護者会 上伊那 PTA 連合会 信州大学 公募	山岸 康弘 馬場 恭平 小森 博人 伊藤 徹 矢澤 秀樹 矢野 昌史 小河 節郎 中川 博夫 伊藤 政志 伊藤 清 福澤 信義 名和 進 白川 光朗 北原 由基雄 宮澤 正巳 尾崎 航也 漆戸 正彦 鈴木 純 杉山 祐樹		
欠席者	伊那市ふるさとメッセンジャー	高沖 清乃		
委員以外の出席者	上伊那地方事務所地域政策課長	池内 武久		
出席した事務局職員	伊那市総務部長 伊那市総務部地域創造課長 箕輪町企画振興課政策調整担当課長 南箕輪村地域づくり推進課長 伊那市総務部総務課長 南箕輪村子育て支援課長 伊那市総務部地域創造課人口増推進係長 伊那市総務部地域創造課人口増推進係 箕輪町企画振興課まちづくり政策係長 南箕輪村地域づくり推進課長	原 武志 宮原 貴敏 今井 政文 田中 俊彦 馬場 文則 有賀 由起子 伊藤 透 伊藤 貴 鈴木 清次 浦嶋 一馬		

議 事	(1) 意見募集の結果について (2) 伊那地域定住自立圏共生ビジョン答申案について (3) 今後の日程について (4) その他
配布資料	資料1 伊那地域定住自立圏共生ビジョン（素案）に対する意見等 資料2 伊那地域定住自立圏共生ビジョン（答申案） 資料3 今後の日程

1 開会

副会長より開会が宣言される。

(事務局) 欠席者の報告 高沖清乃委員

2 あいさつ

(会長) 前回の協議会では、共生ビジョンに基づき実施を計画しているそれぞれの事業について事務局より提案があった。

本日の協議会では、前回の協議会での議論や意見公募などをふまえた答申案について事務局より説明がある。今回は共生ビジョン答申に向けての協議となるので、委員各位の活発な議論をお願いしたい。

3 協議事項（進行 山岸会長）

(1) 意見募集の結果について

(会長) 事務局から説明をお願いする。

(事務局) (資料1「伊那地域定住自立圏共生ビジョン（素案）に対する意見等」で説明)

(会長) ただいまの内容について、意見・質問等はあるか。

(意見・質問なし)

(2) 伊那地域定住自立圏共生ビジョン答申案について

(会長) 事務局から説明をお願いする。

(事務局) (資料2「伊那地域定住自立圏共生ビジョン（答申案）」で素々案からの修正点を中心に説明)

(会長) ただいま内容について、意見・質問等はあるか。

答申内容を決める最終的な会議なので、この機会に自由なご意見をいただきたい。

(委員) 資料2の11ページ「結びつきやネットワークの強化に係わる政策分野」でこの事業費はどういう計算になるのか。

(事務局) まだ、部会の方でも最終的なキールート（縦断路線）の案が煮詰まっているわけではないが、現在考えているイメージは、以前に伊那バスで運行していた辰野から駒ヶ根を走っていた旧伊那本線をメインにそれを3市町村で結ぶ路線。もう一つは伊那市では循環バスの内回り便の復活ということで考えている。このキールートについては、想定されるルートを実行した場合の運行費に加えて、バスの調達費を5年間で案分をして負担をするという考え方。概算ではあるが主には運行費とバスの調達費について想定される金額を載せている。

(委員) 公共交通に関して意見を申し上げたい。おそらく公共交通②に含まれているのかと思うが、今回、定住自立圏共生ビジョンということで3市町村を中心として密接な結びつき、特に公共交通で人の流れを確保できるようにということでのこのような事業となっていると思う。縦断路線バスの運行に関し、可能であれば検討いただきたい。それは、「公共施設」に「乗り継ぎせず」ということがうたっているが、3市町村それぞれでコミュニティバスを運行していたり、JR 飯田線があったりということそれぞれの連携を図ったうえで、連絡がうまくいくように3市町村で連携をとっていただきたい。また、圏域は数十キロの範囲ですので、乗り継いで目的地に到着するというのも可能性としてある。そうすれば、路線の決め方が複数となって可能性が高まると考えている。ご検討いただきたい。

(委員) 夜にお酒を飲んだ人が帰る時間にバスがなくなってしまう。お酒を飲むことは地域にお金が落ちる、回るということになるので、そういうのを試験的にやってみても面白いと思う。

(事務局) いただきました意見については、事務局で確認をさせていただき、修正が必要なものについては、正副会長に相談、確認をして、最終的な答申としたいと思うが、そのような進め方でよろしいか確認させていただきたい。

(会長) ただいま事務局から提案があったが、それでよろしいか。
(異議なし)

(3) 今後の日程について

(会長) 事務局から説明をお願いします。

(事務局) (資料3「今後の日程」で説明)

(会長) 意見・質問等あるか。
(意見・質問なし)

(4) その他

(会長) 委員の皆さんや事務局からあるか。

(委員) この計画書で動くのは結構かと思うが、検証の機会や見直しについてどのようなタイミングで行うのか、事務局案というのを示してもらえないか。

(委員) この共生ビジョンについては当面5年間の計画期間としており、この間、当然常に検証しながら、見直しという作業が必要になる。事務局の方で会長とも相談をさせていただく中で協議会の開催が必要という判断があれば、開催をさせていただく。

どの時点で開催をするかについては、1年たってからではなく、特に地域公共交通は莫大なお金を投資して行うため、その都度検証し、事業者との調整をし、利用する皆さんにとって今の運用が良いのか悪いのか、判断していきたい。運用については事業者が可能な限り見直しを行っていきたい。

パブリックコメントや委員の皆様からいただいた意見については、どういう風に反映していくかということその都度考えながら、反映していく。

4 その他

(事務局) 本日もご提示をしました、パブリックコメント等の回答については、ホームページで住民に皆さんに公開していく。また、今回のご意見をふまえた修正については、

正副会長に確認いただき、委員の皆様にお返しする。

事業の進捗等について、委員の皆様にご存知いただくことも大切であり、状況に応じて、資料の送付等でお知らせしていく。

5 閉会

副会長より、閉会が宣言される。